

# シンガポール取引所 (SGXL)

## インドの成長に伴う Nifty 株価指数先物、人民元とインド・ルピア関連通貨先物、ドライ FFA 市場の拡大を期待 シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

**フィリップ証券株式会社**

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2023/6通期は、営業収益が前年同期比8.7%増、営業利益が同9.7%増。通貨・コモディティ・エクイティのデリバティブ取引が堅調。
- コモディティと通貨のデリバティブ取引枚数の増加に加え、エクイティ・デリバティブを含めた証拠金運用に係る財務収益が業績寄与。
- インド経済成長に伴うNifty株価指数先物、人民元とインド・ルピア関連通貨先物、海運におけるドライFFA市場の拡大が期待される。

### What is the news?

8/17発表の2023/6通期は、営業収益が前年同期比8.7%増の11.94億SGD、営業利益が同9.7%増の5.89億SGD、一時的・例外的要因の影響を除く調整後の当期利益が同10.3%増の5.03億SGD。通貨・コモディティおよびエクイティのデリバティブ取引の伸びに支えられた。人件費や通貨OTC取引システムに係るテクノロジー費用の増加などを吸収して増収増益。

通期の主要3事業セグメント別の営業収益は以下の通り。

(1)「**債券、通貨およびコモディティ部門 (FICC)**」は前期比33.8%増の3.38億SGD。その内、①**債券**は31.8%減の8.3百万SGD。②**通貨・コモディティ**は同37.1%増の3.29億SGD。取引枚数では、鉄鉱石先物などのコモディティ・デリバティブ取引が総35.4%増、米ドル・人民元の通貨先物をはじめとする通貨デリバティブ取引が同28.7%増、およびOTC(店頭)のFX取引の日次平均が同7.3%増と拡大した。金利上昇を受けて証拠金運用に伴う財務収益の増加も増収に貢献した。

(2)「**エクイティ部門**」は同1.5%増の7.09億SGD。その内、③**現物株式**は同10.9%減の3.46億SGD。新規上場やセカンダリー募集売出しが減少したほか、1日当たり平均売買金額が同13.4%減少した。清算手数料率も2.47%と同0.07ポイント下落。④**エクイティ・デリバティブ**は同17.0%増の3.63億SGD。取引枚数比率で約54%を占める主力のFTSE中国A50指数先物が同11.0%減、約10%を占める日経平均先物が同15.9%減となるなど取引枚数が同8.6%減少したものの、財務収益増加が増収に寄与した。

(3)「**時価データ、システム接続および指数 (DCI) 部門**」は同横ばいの1.47億SGD。内訳は、⑤**市場データ・指数収入**が同5.9%減収だったものの、⑥**接続収入**が同7.0%増収だった。

### How do we view this?

2024/6通期会社計画は、総費用が前期比1桁台半ばの増加率、資本的支出が同27-36%増の75-80百万SGDである。

今後に向けて、先ず、アジアにおけるインド経済の存在感の高まりとともに現在FTSE中国A50指数先物に次ぐ取引枚数のインドNifty株価指数先物の成長が期待される。また、SGX上場の人民元とインド・ルピアはともに世界の上場通貨先物の中でも上位10位以内食い込むなか、更なるシェア拡大が見込まれる。更に、鉄鉱石の日次平均取引量が2023年6月期に前期比35%伸びたことを背景にSGXが海運用船料に関し、石炭や穀物も含めたドライFFA(運賃先物取引)市場で主導的地位を高める余地もあろう。

### 業績推移

※参考レート 1SGD=108.33円

| 事業年度        | 2021/6 | 2022/6 | 2023/6 | 2024/6F | 2025/6F |
|-------------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 営業収益(百万SGD) | 1,056  | 1,099  | 1,194  | 1,286   | 1,327   |
| 当期利益(百万SGD) | 445    | 451    | 570    | 544     | 550     |
| EPS(SGD)    | 0.41   | 0.41   | 0.52   | 0.50    | 0.51    |
| PER(倍)      | 24.24  | 24.24  | 19.12  | 19.88   | 19.49   |
| BPS(SGD)    | 1.30   | 1.45   | 1.59   | 1.69    | 1.84    |
| PBR(倍)      | 7.65   | 6.86   | 6.25   | 5.88    | 5.40    |
| 配当(SGD)     | 0.32   | 0.32   | 0.33   | 0.36    | 0.37    |
| 配当利回り(%)    | 3.22   | 3.22   | 3.32   | 3.62    | 3.72    |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

|            |             |                |
|------------|-------------|----------------|
| 配当予想 (SGD) | <b>0.36</b> | (予想はBloomberg) |
| 終値 (SGD)   | <b>9.94</b> | 2023/9/19      |

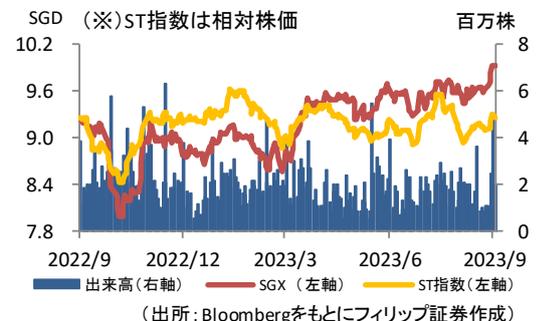
### 会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

同社は、①債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業、②現物株式及び株式デリバティブ事業、③時価データ・接続および指数事業の3事業セグメントから構成されている。

### 企業データ(2023/9/20)

|                  |        |
|------------------|--------|
| ベータ値             | 0.80   |
| 時価総額(百万SGD)      | 10,670 |
| 企業価値=EV(百万SGD)   | 10,366 |
| 3か月平均売買代金(百万SGD) | 16.3   |



### 主要株主(2023/9)

|                   |      |
|-------------------|------|
| 1. シロダー           | 3.14 |
| 2. JPMorgan Chase | 2.89 |
| 3. ブラックロック        | 2.76 |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
+81 3 3666 6980  
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。